

## キッズ・モニターアンケート第2回「地球温暖化について」の調査結果

地球温暖化は、わたしたち人類の暮らしに大きな影響を与えられていると考えられていますので、世界中の人々と協力してこの問題に立ち向わねばなりません。地球温暖化対策室では、工場や店舗、会社、学校、家庭の皆さんとともに取り組む地球温暖化の防止活動に役立てるため、キッズ・モニターの皆様を対象としたアンケートを実施しました。

ご協力くださったモニターの皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### アンケート調査の概要

- 1 募集期間 平成 23 年 8 月 22 日（月）～9 月 3 日（土）
- 2 回答者数 167 名
- 3 回答者 男性 71 名、女性 96 名
- 4 回答者の地域別人数と割合

地域	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
人数	71	51	26	14	5	167
割合	42.5%	30.5%	15.6%	8.4%	3.0%	100%

北勢：桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、東員町、菟野町、川越町

中勢：津市、松阪市、多気町、明和町 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、南伊勢町

伊賀：伊賀市、名張市 東紀州：尾鷲市、紀北町、紀宝町

アンケート結果の概要（括弧内の数字は、全回答者数に対して占める割合です）

【Q1】あなたは、「地球温暖化」について知っていましたか？

---

「知っていた」「聞いたことがある」と回答した人は164人（98%）と多数を占め、そのうち「聞いたことがある（くわしく知らない）」と回答した人は38人（23%）でした。

【Q2】Q1で「知っている」「聞いたことがある」と答えた人に聞きます。地球温暖化は進んでいると思いますか？

---

「進んでいる」と回答した人は147人（88%）と多数を占めました。

【Q3】地球温暖化は、環境にどのような変化をもたらすと思いますか？（複数回答可）

---

「暑い日が増える」を選択した人が最も多く153人（92%）でした。また、全てを選択した人は13人（8%）でした。

「寒い日が減る」を選択した人は30人（18%）と冬の気候変化に対する関心はやや低くなっています。

なお、自由意見で「北極や南極の氷がとける」などを指摘した人が7人、「生態系への影響」などを指摘した人が6人ありました。

【Q4】地球温暖化は、私たちの暮らしにどのような影響をもたらすと思いますか？（複数回答可）

---

「熱中症や感染症の増加」を選択した人が118人（71%）と最も多く、次いで「洪水、土砂災害」が92人（55%）、「穀物の収量減」が90人（54%）、「飲み水の不足」が78人（47%）となりました。全てを選択した人はいませんでした。

高潮被害に対する関心は比較的低い結果となっています。

地域	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
(自然災害) 洪水や土砂災害が増える、 高潮の被害が増える						
人数	47	34	18	8	3	110
割合	66%	67%	69%	57%	60%	66%
(健康) 熱中症や感染症の患者が増える						
人数	52	34	15	12	5	118
割合	73%	67%	58%	86%	100%	71%
(食糧) コメ・小麦などの収穫が減る、 海外の食物が手にはいりにくなる						
人数	41	31	16	7	3	98
割合	58%	61%	62%	50%	60%	66%
(水) 飲み水が不足する						
人数	37	24	8	6	3	78
割合	52%	47%	31%	43%	60%	47%

【Q5】二酸化炭素の排出を少なくするため、石油やガスなどの化石燃料に代えて、太陽光、風、流水など、自然の力でもたらされるエネルギー（再生可能エネルギー）を利用する方法があります。次のうち家庭で使っているものがあれば教えてください。（複数回答可）

再生可能エネルギーを利用している人は43人（26%）でした。

【Q6】地球温暖化を防ぐためには、私たち一人ひとりが電気やガス、水道などの資源、エネルギーを大切に使ったり、ゴミの量を減らしたり、身のまわりのできることから始める必要があります。

あなたの家庭で、何か気をつけていることはありますか？（複数回答可）

「食べ残しを減らす」が最も多く112人（67%）で、次いで「電気・ガスの使用量をチェックする」が95人（57%）、「互いに注意しあう」が82人（49%）、「環境への影響を考えた買い物」が72人（43%）でした。

一方、回答の少なかったものは、「家族で話をよくする」の29人（17%）、「自動車よりも公共交通機関や自転車を利用する」の50人（30%）、「生ごみの水分を減らす」の55人（33%）、「早寝・早起きする」の58人（35%）でした。

無駄なく食べることや家族が互いに意識をもって行動できるようにチェックするといったことに関心が高いものの、早寝・早起きや自動車の使用を控えるといった行動様式の変化には関心がやや低い結果となりました。

全て選択した人は7人(4%)でした。

また、その他として「ごみの分別、リサイクル、再利用」が3件、「水の使用量を減らす」「冷蔵庫の開け閉めを減らす」「電気をこまめに消す」「冷房の温度設定を上げる」がそれぞれ1件ありました。

【Q7】地球温暖化の防止に関することばには、「京都議定書」「省エネルギー」などたくさんありますが、次のうち聞いたことのあるものはどれですか？(複数回答可)

認知度の高いものは「マイバッグ、マイボトル」の150人(90%)、「LED照明」の141人(84%)、「エコドライブ」の137人(82%)で、反対に認知度の低いものは「スマートグリッド」「HEMS」がそれぞれ11人(7%)、「パーク・アンド・ライド」の26人(9%)、「グリーン購入」の48人(29%)、「カーシェアリング」の49人(29%)でした。

地域	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
エコドライブ						
人数	62	36	25	10	4	137
割合	87%	71%	96%	71%	80%	82%
カーシェアリング						
人数	22	15	8	4	0	49
割合	31%	29%	31%	29%	0%	29%
パーク・アンド・ライド						
人数	8	9	6	3	0	26
割合	11%	18%	23%	21%	0%	16%
グリーン購入						
人数	22	15	8	3	0	48
割合	31%	29%	31%	21%	0%	29%

マイバッグ・マイボトル						
人数	66	46	25	9	4	150
割合	93%	90%	96%	62%	80%	90%
スマートグリッド						
人数	4	3	3	1	0	11
割合	6%	6%	12%	7%	0%	7%
H E M S (ホームエネルギー管理システム)						
人数	4	3	4	0	0	11
割合	6%	6%	15%	0%	0%	7%
L E D照明						
人数	63	41	25	10	2	141
割合	89%	80%	96%	71%	40%	84%

【Q8】あなたが、地球温暖化について学ぶとしたら、どのような方法を希望しますか？（複数回答可）

「学校の授業」が最も多く 129 人（77%）で、次いで「インターネット」の 70 人（42%）、「環境イベント」の 65 人（39%）、「図書館」の 55 人（33%）、「博物館」の 47 人（28%）、「家庭」の 30 人（18%）、「大学など」の 16 人（10%）となりました。

また、自由意見で「テレビ」または「映像」という意見が 4 件ありました。

選択肢	学校 授業で	家庭 大人と会話	大学など 公開講座	環境 イベント	図書館	博物館	インター ネット
人数	129	30	16	65	55	47	70
割合	77%	18%	10%	39%	33%	28%	42%

【Q9】もっとみんなに地球温暖化について知ってもらうには、どうすれば良いと思いますか？（自由回答）

「メディアの活用」「学校や家庭での会話」「ポスター掲示」「イベント開催」の順に多くの意見を寄せられました。

【学校でできること】(46人)

- ・学校や家族で話し合う(36人)
- ・ビデオ教材(映画・CGを授業で)(4人)
- ・学校で(専門家の出前授業)(3人)
- ・学校の宿題、自由研究、壁新聞(3人)

【誰かにしてもらいたいこと】(99人)

- ・テレビ・ラジオで放映する(番組、コマーシャル、公共広告機構)(42人)
- ・ポスターを掲示(16人)
- ・イベントを開催(15人)
- ・インターネット(ゲーム、クイズ、ホームページ)(6人)
- ・博物館(レジャー感覚、体験型、100年後の気温など)(4人)
- ・新聞で記事に(3人)
- ・チラシを配布(3人)
- ・公開講座、図書館で講座(3人)
- ・地道な話題づくり(1人)
- ・芸能人を招いた講演会(1人)
- ・国や自治体の法律で(1人)
- ・既に多くの人知っている(1人)
- ・人気雑誌に掲載(1人)
- ・旗を掲げる(1人)
- ・県の広報(1人)

【Q10】あなたが、地球温暖化について疑問に思ったり知りたいと思ったりすることは、どのようなことですか？(自由回答)

---

「温暖化防止に必要なことは何か」「どうして温暖化がおこってきたのか」「どれだけ温暖化が進んでいるか」「温暖化が進むとどうなるか」「どれほど危険か」「温暖化の開始はいつか」「温暖化は止まらないか」の順に多くの「知りたいこと」を挙げていただきました。

【地球温暖化の影響】(33人)

- ・いまはどうなっているのか？どれだけ温暖化が進んでいるか？(8人)
- ・このまま温暖化が進むと地球はどうなるか？(5人)
- ・なぜ日本は深刻さを出さないのか？どれほど危険か？生きていけるか？(4人)

人)

- ・ どうしてゲリラ豪雨が発生するのか？ (2人)
- ・ 氷河はなくなるのか？ (2人)
- ・ 猛暑や豪雨など、気候が極端になったのは温暖化のせいか？ (2人)
- ・ 温暖化が進み、世界各地で被害がでる仕組みは？ (1人)
- ・ 温暖化が進むと人間、動物はどうなるのか？ (1人)
- ・ 具体的な生態系などの影響は？ (1人)
- ・ 今住んでいる地域がどのように変化するのか？ (1人)
- ・ 地球温暖化によって良いことはないのか？ (1人)
- ・ 南極の氷はどれだけ溶けたのか？ (1人)
- ・ 氷が溶けて(海)水面があがると、その水はどこへ流れる？ (1人)
- ・ また氷河期のように冷たくなるのではないか？ (1人)
- ・ 冬にすごく寒いのはなぜか？ (1人)
- ・ オゾン層の破壊、異常気象、酸性雨は地球温暖化の影響か？ (1人)

【地球温暖化の仕組み・状況】(23人)

- ・ 地球温暖化はどうしておこってきたのか？原因は？ (8人)
- ・ 地球温暖化がとまることはないのか？2200年にはもっと気温が上がる?(4

人)

- ・ 地球温暖化はいつから始まったのか？ (4人)
- ・ 地球温暖化にならない方法は何か？ (2人)
- ・ なぜ温度が上がっているか？ (1人)
- ・ 50年くらい前と比べて何度くらい気温があがったか？ (1人)
- ・ 毎年、気温がどのくらい上がっているか？ (1人)
- ・ 科学者によって意見が違うのは疑問だ (1人)
- ・ 地球温暖化はなぜ人に迷惑をかけているか？ (1人)

【地球温暖化の防止・緩和】(26人)

- ・ 温暖化を防ぐために必要なことは？ (10人)
- ・ 地球温暖化を防ぐことは可能か？ (2人)
- ・ 皆で協力できることはないのか？ (2人)
- ・ 実施にどれだけの人たちが温暖化に協力しているのか？ (2人)
- ・ 地球温暖化を防ぐために、どんな研究や実験が行われているか？
- ・ 社会ではどんな工夫をしているか？ (1人)

- ・世界各国の地球温暖化に対する取組（１人）
- ・温暖化防止の取組で温暖化を遅らせることができているか？（１人）
- ・２５％削減の目標は達成できるか？（１人）
- ・排出権取引のせいで削減が進まないのではないか？（１人）
- ・捨ててあるゴミをひろうことは地球温暖化防止に役立つか？（１人）
- ・エコバックを使用したり、割り箸の使用を控えると温暖化防止につながるか？（１人）
- ・食べものを残さなかったりするとどんないいことがあるのか？（１人）

【その他】（７人）

- ・オゾン層のしくみについて
- ・オゾン層の破壊の影響は？
- ・オゾン層は本当に破壊されているか？
- ・紫外線が地球に降り注ぐ量
- ・資源の重要さ
- ・地球の寿命はどのくらいか？
- ・なぜ夏は気温が上がり冬は下がるのか？

以上、アンケートから地球温暖化に関するさまざまな疑問などがわかりました。地球温暖化防止の取組を進めるための参考にいたします。

なお、地球温暖化の原因やしくみ・予想される影響について、三重県環境学習情報センター（四日市市桜町 3684-11）では実際に触れて学べる展示を行っています。センターには来場者の疑問にこたえるスタッフがおりますので、気軽にお問い合わせください。

（URL：<http://www.eco-mie.com/>）



ECOMIE.com